

# 有識者会議「安全・安心」まとめ（中間）

---

令和元年6月

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）平井卓也



# 有識者会議「安全・安心」まとめ（中間）

- 国及び国民の「安全・安心」に資する科学技術の推進施策について、昨年12月以降、計3回の議論を実施。いただいた意見は、統合イノベーション戦略案に反映。
- 引き続き会議を開催し、安全・安心の実現に向けた方向性を、2019年末を目途に取りまとめる。

## 有識者会議の主な意見

- ・ 国際競争力の維持・強化の観点から、日本の強みを生かせる技術の特定が必要
- ・ ニーズとシーズのマッチングのため、目利き人材によるシンクタンク機能の仕組みの構築が必要
- ・ 重要な技術分野及び技術課題を特定し、予算や人材等の資源の重点的な配分が必要
- ・ 商工会議所や工業会を活用する等、中小企業の事業参画のための広報の工夫が必要
- ・ 技術流出への意識啓発や情報共有の取組の推進が必要
- ・ 輸出管理の取組の徹底、機微技術の適切な内部管理のための自主的な取組の推進が必要
- ・ 安全・安心分野の技術開発促進のため、政府等が継続的に使用することが必要
- ・ 国土強靱化基本計画等の政府計画との連携により、「死の谷」を越えた開発技術の速やかな実装促進が必要

## イノベ戦略案への主な反映内容

- ・ 国内外の科学技術を、国際的な競争力の維持・強化等の観点から俯瞰、把握し、伸ばすべき分野等を明確化
- ・ シンクタンク機能強化に向けて、関係府省が連携し、ニーズとシーズを調査・収集し、マッチングの仕組みを構築
- ・ 重要な技術分野の研究開発へ、予算や人材等の資源を重点配分し、研究開発を効果的に推進
- ・ 研究開発の成果等について幅広い情報発信を強化し、研究開発主体が研究開発に参加しやすい環境を醸成
- ・ 「外国企業との連携にかかるガイドライン」を策定し、遵守すべき法令や規則を周知
- ・ 大学等の自主的な取組や体制整備の継続のため、管理部門を充実
- ・ 技術シーズを有する府省の研究開発への積極的関与により、着実に社会実装に繋げ、利活用を推進
- ・ 国土強靱化基本計画等を推進するため、衛星、AI等の最新の科学技術の社会実装を促進

知る

育てる

守る

生かす